

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

まにわ  
**岡山県真庭市**  
が応援するふるさと名物

ひるぜん  
～蒜山高原ならではの自然を満喫～

◎蒜山ツーリズム

◎蒜山の自然が育てた関連商品群

わが市町村の  
ふるさと名物は  
**これ!**



白樺の丘



ひるぜん雪恋まつり



蒜山高原（放牧風景）



ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

応援宣言

まにわ  
岡山県真庭市

豊かな自然と地域資源を活かした人と環境にやさしい「杜市（とし）」

地域の  
プロフィール

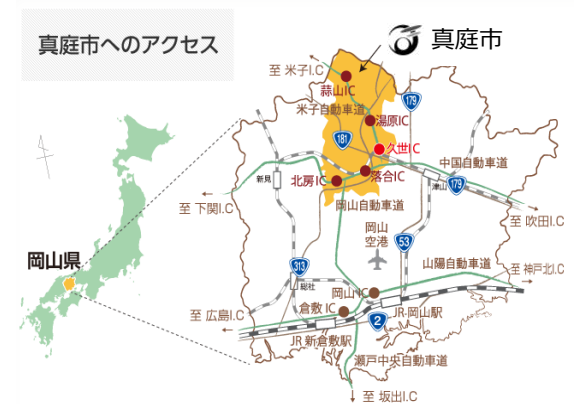
真庭市は、岡山県北部で中国山地のほぼ中央に位置し、東西に約30km、南北に約50km、総面積は828km<sup>2</sup>です。広大な面積を持つ真庭市は、多彩な地域資源に恵まれた中山間地域です。中でも、市域の約8割を占める森林を活かしたバイオマス利活用・林業再生のまちづくりが特徴的です。

市の北部は、「国立公園 蒜山（ひるぜん）」の一部であり、「蒜山三座（ひるぜんさんざ）」をはじめ津黒山など標高1,000m級の山々が鳥取県との県境を形成し、蒜山高原や津黒高原などの広大な高原地帯が広がり、牧歌的な高原風景を醸し出しています。

また、「美作三湯」の一つである湯原温泉や、のれんの町並みで知られる勝山町並み保存地区などの多くの観光資源があり、南部には肥沃な平坦地が広がり、農業地帯が旭川支流一帯に形成されています。



真庭市キャラクター  
『まにぞう』





## 1

### 主な地域資源



## ◆ 蒜山高原（ひるぜんこうげん）

真庭市の北部に位置する標高500mに広がる草原こそ、「国立公園 蒜山」。上蒜山、中蒜山、下蒜山からなる雄大な蒜山三座を望むカントリーな風情と四季折々の大自然が魅力です。蒜山高原をぐるりと周って遊べる、1周約30kmの蒜山高原自転車道が整備されており、蒜山三座を望む雄大な景観と、牧草地や田園の広がるのどかな風景を眺めながら自転車で爽快にサイクリングが楽しめます。白樺の丘やジャージー牛が放牧された風景の中でキャンプや登山などのアクティビティや温泉など、レジャーやリゾート地として人気があります。年間の蒜山高原一帯の観光客数は、約250万人で、岡山県を代表する観光地の一つとなっています。

また、山焼き文化など伝統的に保全されてきた採草地が大規模に残っており、草原性の植物や昆虫類が豊かです。特別天然記念物のオオサンショウウオ生息地、丹頂（たんちょう）飼育施設など希少な動植物が生息している生物多様性の保全上でも重要な場所です。

## 1

### 主な地域資源

#### ◆ 蒜山ジャージー牛 ◆ 蒜山ジャージー乳製品

ジャージー牛はイギリスのジャージー島が原産の毛色が淡い茶の牛です。ジャージー牛から出る乳は、乳脂肪、乳たんぱく質の含有量が高く、このため濃くて味わい深いという特徴を持っています。搾乳量が少なく生産効率が悪いため、国内で飼育されている乳用牛総数の約0.7%と大変希少な牛です。蒜山地域は日本最大のジャージー牛の産地で、牛乳はもちろんヨーグルト、チーズ、アイスクリームなどさまざまなジャージー牛乳を使った濃厚で新鮮なワンランク上の乳製品を味わうことができます。



#### ◆ ヤマブドウ

山葡萄は日本に古くから自生しているツル性の樹で日本固有の品種です。野生を生き抜いた山葡萄は、ポリフェノールが多くふくまれています。蒜山産の山葡萄は、日照時間などの気候の違いから、本場とされる東北地方のものよりも甘みが強く、また皮の色が濃いのが特徴です。

高原の果実の魅力を伝えるためにワインやジュース、ジャムなどの商品を数多く開発しています。どの商品もヤマブドウを贅沢に使用しており、野性味をしっかりと残しながらも上品な味わいが楽しめます。



## 1

### 主な地域資源

#### ◆がま細工

「がま細工」は670年以上前の南北朝時代、湿地に自生する「がま」で兵糧を運ぶ背負いかごをつくったのが始まりと言われています。

がまは軽量で防水性、保湿性、耐久性にも優れ、蒜山が雪の多い地方であるため、かつては雪ぐつなどがつくられていました。「ヒメガマ」を使用し、シナノキという木の皮の繊維で小縄をない、手作業で編んでいます。



#### ◆郷原漆器（ごうばらしっき）

蒜山高原に、郷原という集落があります。そこでは600年の伝統を持つ「郷原漆器」と呼ばれる普段使いの丈夫で美しい漆器が作られています。郷原漆器を透明度の優れた国内で最高の品質と評価される「備中漆」で塗り上げ、木地となるヤマグリの木をはじめ、丈夫な下地となる珪藻土を含めて、全ての素材が蒜山産である、郷土の工芸品です。



## 1

### 主な地域資源

#### ◆塩釜の冷泉（しおがまのれいせん）

蒜山三座の真中、中蒜山の裾の谷間から湧き出る天然水です。面積約60㎡のひょうたん池を形成し、最深部は1.9m、湧水量は毎秒300リットル、水温は年中11度前後と冷たいことから冷泉という名の意味がよくわかります。

昭和60年に環境省が選定する「名水百選」に選定され、平成28年には「名水百選」選抜総選挙の「観光地としてすばらしい名水部門」で第2位になりました。



#### ◆清酒

おいしい日本酒を造るには良質な水が欠かせません。名水百選に数えられる「塩釜の冷泉」の伏流水を使い、仕込みに最適な厳寒の地「蒜山」で110年以上の歴史と共に歩んできた昔ながらの手作りの日本酒です。

蒜山地域以外では出会うことの少ない幻の日本酒です。

#### ◆大根

「ひるぜん大根」は蒜山を代表する特産物です。冷涼な気候と、水はけが良い蒜山高原特有の火山灰を含む土「黒土（くろぼこ）」が、瑞々しく甘みのある美味しい蒜山大根を育ててくれます。

そのなかでも「寒締め栽培」によって栽培された大根は特に甘みが増しています。初霜が降りる11月上旬から根雪となる12月上旬までの季節限定ですが、旬にこだわったこの大根は他では味わえません。



## 2

### ふるさと名物

## ～蒜山高原ならではの自然を満喫～

### ◆蒜山ツーリズム

### ◆蒜山の自然が育てた関連商品群

豊かな自然の中で登山、サイクリング、ウィンタースポーツなどのアクティビティが満喫できる西日本屈指のレジャー&高原リゾートゾーンの蒜山。

愛らしいジャージー牛が放牧され牧歌的な雰囲気漂う蒜山では、夏は避暑、冬はスキーなど、四季を通じて楽しむことができます。日本最大のジャージー牛の産地としても有名で、ジャージー牛乳を使った新鮮で濃厚な乳製品や自然に育まれた地元の素材を使った料理を味わうなど、大自然を存分に楽しめます。また、伝統、産業、環境など学びの体験も貴重な思い出になることでしょう。



スノーシュー体験



蒜山ホースパーク



蒜山高原自転車道



登山(蒜山)



郷原漆器(塗り)



かま細工(編み)



蒜山ジャージー乳製品



ヤマブドウ製品

## 1

### 独自の支援策

#### ◆真庭ブランド認定

真庭の地域資源や伝統技術などを活かした商品、真庭の歴史や文化を伝える商品など商品の販路拡大を通して真庭の魅力を全国にアピールできる商品を「真庭ブランド」として認定します。

#### ◆真庭市地域資源活用事業支援金

真庭市内の企業等が取り組む、地域の優れた資源を活用した新商品又は新サービスの研究開発及び販路開拓等の事業を行う際に必要な経費の一部を支援します。

#### ◆真庭市の地酒で乾杯を推進する条例

日本酒やワインなどの地酒は、真庭市の誇る地域産品であります。地酒による乾杯の習慣を広めることにより、関連産業の発展及び郷土愛の醸成を図り、地酒の普及を通じた日本文化への理解を促進します。

## 2

### 独自の支援組織

#### ◆真庭市産業サポートセンター

自立型産業構造への転換に向け、商工業の振興、農林業の振興、観光業の振興及び雇用の促進を図ることを目的に、農林業関係機関、商工業関係機関及び行政機関が連携した産業支援のネットワーク組織です。



1

イベント

## ◆ 蒜山高原マラソン全国大会

1982年から蒜山高原で開催されている日本陸連公認のマラソン大会です。コースは3km、5km、10km、ハーフマラソンの4種類あり、毎年約2500人の参加があります。

## ◆ 海の手・山の手真庭

高速道路がクロスする地の利を活かし、日本海から太平洋までを結んだ、蒜山高原で行われる真庭最大級の地域特産物イベントで、来場者は3万人を超えます。

## ◆ ひるぜん雪恋まつり

かまくらやソリ、スノーシューといった雪遊び、蒜山の伝統を学ぶ体験コーナーの他に、「ひるぜん焼そば」といったご当地グルメを堪能でき、夜には1000基ものミニかまくらにキャンドルが灯され、幻想的な風景が広がります。

## ◆ ツアーガイド

地元のツアーガイドがスノーシュー登山、トレッキング、山野草観察など年間を通して満足度満点の自然体験ツアーを開催しています。

## ◆ ひるぜん焼そば

蒜山のローカルフード「ひるぜん焼そば」は、かしわ（鶏）肉と高原キャベツの独特の食感と旨み、甘辛の秘伝の味噌だれの濃厚な味わいが特徴です。地元有志を中心に全国へ出展やPRなどの町おこし活動が続けられています。

2

地域の取り組み